

令和4年度 オンラインを活用した中学生の国際交流について

青少年課

1 目的

オンラインを活用した中学生の国際交流を実施することで、幅広い生徒の多文化共生への理解や語学力向上につなげる。

2 対象

中学2年生

3 交流相手

○台湾やフィリピンなど時差の少ない所を検討（相手国の新型コロナの状況等踏まえながら検討）

※令和3年度は大胡中と姉妹校の台湾新北市中正國民中學との交流を実施

4 交流の時期

○3学期1月下旬から2月上旬頃を予定

○交流する時間は、2校時分（50分×2）を使い休憩を含めて80分程度を予定

5 交流方法・交流内容

(1) オンライン会議システム Google Meet を予定（職員のアカウントを使用）

(2) 交流言語 英語

(3) 実施体制

各クラスを6つの班に分けて班同士で交流する予定。一つの班の人数は5人程度。

(4) 交流内容の例（実施校の意向に合わせ、相手校とも相談しながら内容を検討していく）

○2学年英語の「わが町観光プランをおすすめしよう」や「町のとおきのおきの情報を伝えよう」の学習などと絡めて

①事前（計8時間）

- ・自己紹介の手紙を英語で書いてお互いの学校に送り、交流相手の班のメンバーについて、大まかに理解する。受け取った手紙の相手がお互いの市に遊びに来ることを想定し、相手をもてなすような観光プランを各班で立てて、発表の準備をする。

【事前準備にかかる時間について（英語、総合、技術として）】

- ・自己紹介の手紙準備（英語：1時間）（11月中に用意し12月上旬ごろ送付）
- ・群馬県や前橋市、相手の国調べ（冬休みの総合の課題として）
- ・観光プラン作成（総合：2時間）（1月）
- ・観光プランの英文作成（英語：2時間）（1月）
- ・スライド等資料作成（技術：2時間）（1月）
- ・発表練習（総合：1時間）（1月）

②当日（総合：2時間）（1月下旬から2月上旬）

- ・お互いの学級全体が集まって挨拶等を行う。
 - ・お互いの観光プランの発表や質疑応答などを行う。
 - ・再度学級全体で集まり、代表者の感想発表等を行う。
- ※交流をスムーズに行うためにも、可能な限りALTの援助をいただく。

(5) 相手校との連絡調整

令和4年度は青少年課が連絡や日程の調整などを行う予定です。